

第 4 期 第 3 回 中 原 区 区 民 会 議

日時 平成25年 1 月22日 (火) 14 : 00～

場所 中原区役所 5 階 502・503会議室



1 開催日時 平成25年1月22日(火)午後2時00分～3時58分

2 開催場所 中原区役所5階 502・503会議室

3 出席者

(委員) 川連委員長、富岡副委員長、板倉副委員長、青木委員、石井委員、稲富委員、梅原委員、岡本委員、尾木委員、反町委員、塚本委員、寺岡委員、中森委員、中山委員、成田委員、橋本委員、橋本委員、藤嶋委員

(参与) 市古参与、大庭参与、押本参与、川島参与、松川参与、松原参与、吉岡参与  
(事務局) 板橋区長、小野副区長、岩瀬部長、風間部長、山崎所長、

石津副所長、諏佐室長、木下所長、綱島課長

企画課：川添課長、園田係長、倉見係長、橋本職員、深谷職員、野並職員

危機管理担当：森下課長(中原消防署副署長)、渡邊課長、

石塚計画デザイン事務所：千葉さん、牟禮さん

4 議題 (1) 第1回及び第2回課題調査部会報告(公開)

(2) 審議テーマ「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に向けた  
取組について(公開)

(3) 第2回運営部会報告(公開)

(4) 第4期区民会議2つ目の審議テーマについて(公開)

5 傍聴者 5人

6 会議内容

午後2時 開 会

1 開会

司会 皆さん、こんにちは。それでは、定刻になりましたので、ただいまから第4期第3回中原区区民会議を開催いたします。

本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます、中原区役所副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、このたび中原区町内会連絡協議会から新たに石井康昭委員に加わっていただくことになり、本日の会議から参加をいただいております。

ここで石井委員に一言いただきたいと思っておりますので、石井委員、よろしくお願いいたします。

石井委員 御紹介いただきました石井でございます。長瀬町連会長が亡くなりまして、その後任として現在代行を務めさせていただきます。本日は中原区町内会連絡協議会の代表ということで参加させていただきました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。石井委員、これからどうぞよろしくお願いいたします。

では、会議を進めてまいります。

本会議は過半数の委員が出席をしており、川崎市区民会議条例第6条第2項により、委員の半数以上の出席を得ておりますので、成立しておりますことを御報告申し上げますとともに、会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することになりますので、御了承をいただきたいと思っております。

きょうの出席状況でございます。参与の先生方ですが、東参与と滝田参与につきましては所用により欠席の連絡をいただいております。そのほか何名かの参与の先生方はおこなわれているようでございます。

それでは、中原区長の板橋より御挨拶を申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。区長の板橋でございます。本日は年が明けまして初めてお目にかかる方もいらっしゃると思っておりますので、本年もよろしくお願ひしたいと思っております。

さて、本日はお忙しい中、区民会議に御出席をいただきまして、本当にありがとうございます。昨年を振り返りますと、区制40周年、また、川崎が政令指定都市になって40周年ということで、さまざまな行事を行わせていただきまして、皆様方の御協力によりまして非常に滞りなく物事が進んだと思っております。本当にありがとうございます。

まだ年度内ということでございますので、これからも大きなものがまだ幾つかあります。2月に市民ミュージカルということで、中原区では初めてなんですけれども、市民が中原区をテーマにしたミュージカルを市民館でやるということもありますし、また、東京交響楽団と大谷康子さんをお招きしましてコンサートも開催する予定でございます。それから、多分最後の行事になろうかと思うんですけれども、パンジーボウルといいまして、アメリカンフットボールの関係で、中原区にある法政大学のトマホークス、学生ナンバーツーです。それから富士通のフロンティアーズ、これも実は社会人ナンバーツーなんです。

ですから、このナンバーツー同士の前哨戦を中原区でやっていただいて、来年はライスボウルでやっていただけるのではないかなと思っております。そういったようなことも40周年記念行事として残っておりますので、また引き続き皆さん方の御協力をお願いしたいと思っております。

最後に、アナウンスという形になってくるんですけれども、実は来年、2014年なんですけれども、川崎市制が90周年で市を挙げてのいろいろな行事があると思っておりますので、またよろしくお願ひしたいと思っております。

さて、今回皆様方をお願いしておりますのは、3つのテーマのうち防災の関係で、この間、ずっといろいろな部会で御審議をいただきまして、本当にありがとうございました。私は部会の出席はできないんですが、必ず議事録を拝見させていただいておりますし、また、事務局からも、つぶさにいろんなことの議論を伺っておりますので、そういう意味ではきょうの報告や議論も非常に楽しみにしているところでございます。よろしくお願ひしたいと思っております。

それから、防災について一言お話をさせていただきたいと思っているんですが、実は、けさも本庁で防災の会議がございまして、この間の3・11を踏まえた、もう2年近くたつんですけれども、とりあえずの計画の見直しがまとまりまして、今後、参与の方がいらっしやると思うんですが、議会あるいはパブリックコメントに向けて、当座、今ここまで来ていますというような感じの計画を、こんな分厚いんですよ。私も読み切れないぐらいの厚さで、きょう局長会議では議論させていただきました。そういったことも踏まえて着実に一步一步、防災体制が築き上げられているのだろうと思っています。

中原区におきましても防災連携協議会を3月に、開催する予定でありますし、既に医療部会、中原区には大きな病院が幾つかありますので、大きな病院や医師会の皆さん方もメンバーに加わっていただきながらの議論も着実に進んでおるところでございますので、また改めて、そういった議論がまとまりましたら皆さん方のほうにも御報告なり御提示をさせていただく形になろうかと思っております。

それと、もう一言だけ言わせていただきたいと思っているんですけれども、この話につきましては、既に住吉地区の社会福祉協議会の皆さんに少しお話をさせていただいたんですが、たまたま昨日、今日は雪にならずに済んだということですが、残念ながら成人式の日、晴れ着を着ておられた成人の方については非常に大変だったと思いますけれども、大雪が降りました。中原区は22センチということで、川崎は県内でも非常にたくさん雪が降ったわけでございますけれども、その雪の中で幾つか私も考えさせられることがありました。

雪かきの話なんですけれども、急に降ったということもありまして、なかなか雪かきがそれぞれの家庭ではしづらかった状態だろうと思います。私は鹿島田に住んでいるんですけれども、翌日私も朝早く、自分の家の前は雪かきをしてまいったところです。やはり従来に比べると自分の家の前ですら雪かきができていない御家庭があったり、あるいは集合住宅だとか商店街の中でも、残念ながら駅に行く道が全て雪かきをされている状態ではなかったということがありました。

改めてこれは世の中のきずなというものが、大震災以来いろいろ話をされていますけれども、例えば、通常の常識ならば、それぞれの家が自分の家の前ぐらいは雪かきをして、歩く人に迷惑をかけないと思うんでしょうけれども、残念ながらそうでもなかった。それが以前に比べてまた増えたのかなという気がします。まさにそういう意味では、雪かきをしようにもできない高齢者の世帯が多くなってきていることだとか、あるいは、商店街の中でも、オーナー商店ならば多分、自分の家の店はきちっとやるんでしょうけれども、チェーン店だとかなんとかというところ、どうしても朝出勤してからになるということもあると思うので、残念ながら我々の通勤時間には雪かきがされていない。高層住宅、大型マンションでもなかなか全部ができていない。そのような状況があったようです。

そういう意味では、ここで議論されている大きな部分が地域地域の、地域の社会のきずなということが大きな議論になっていると思うんですけれども、改めて大雪を見ながら、

なかなか震災以降、きずな、きずなと言っても、やっぱりやり切れない部分は多々あるんだなと思いました。それで改めて、やはり地域社会がなかなかそういった、雪かきすらもできないような状況にあるところについては手助けをするとか、あるいは、できるだけ早く道を確保するとか、そういうようなことが、必ずしも震災だけではなくて日常的にもそういうふうなものが求められてきているのかなと思っています。改めてそんなことも思いながら、きょうの議論を楽しみに聞かせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

最後になりますけれども、区民会議は2年の間の1年目の締めくくりをもうそろそろ迎えるということですので、ぜひ皆さん方の真摯な議論を御期待申し上げまして、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

司会 それでは、続きまして、事務局より本日の資料の確認をさせていただきます。

事務局、よろしくお願ひいたします。

事務局 それでは、本日配付しております資料を確認させていただきます。

まず、1枚目、本日の次第でございます。

続きまして、別添1、席次表でございます。

続きまして、別添2、委員及び参与名簿でございます。

ここからは資料でございます。

資料1、3番でございます。審議テーマに関する意見一覧表でございます。

続きまして、資料2、こちらもA3判でございます。課題解決に向けた取組事項（案）でございます。

続きまして、資料3、こちらも1枚目がA3判、2枚目がA4判でホッチキスどめしてございます、第4期区民会議審議テーマ検討資料でございます。

続きまして、資料4、平成24年度区民会議交流会の開催についてでございます。

続きまして、委員の方のみの配付となりますが、平成24年度区民会議交流会の出欠確認表でございます。

続きまして、資料5、A3判でございます。第4期中原区区民会議スケジュールでございます。

続きまして、ここからは参考資料でございます。参考資料1-1、第1回課題調査部会会議録でございます。こちらは2枚でございます。

続きまして、参考資料1-2、第2回課題調査部会会議録でございます。こちらは3枚でございます。

続きまして、参考資料2といたしまして、資料番号は振ってございませんが、「そなえる。かわさき」ほぞんばん（やさしいにほんご版）でございます。こちらは冊子となっております。

続きまして、参考資料3といたしまして、防災マップ（中原区版）でございます。

続きまして、参考資料4といたしまして、こちらも資料番号は振ってございませんが、

やさしいにほんごきょてんりすと（なかはらく）でございます。

続きまして、参考資料5、住吉中学校災害図上訓練の報告でございます。

続きまして、参考資料6、第2回運営部会会議録でございます。こちらは2枚でございます。

続きまして、参考資料7、第4期区民会議準備会議委員意見一覧でございます。こちらはA4で3枚でございます。

続きまして、参考資料8といたしまして、地域コミュニティを考える講演会チラシということで、こちらは以前、区民会議で審議テーマとなりましたコミュニティづくりに基づきまして区役所で事業を継続して実施しているものでございますが、2月24日、講演会がございます。防災にかかわる部分もございますので、参考までに配付をさせていただいておりますので、よろしく御参加いただければと思います。

あと、最後に、枚数に限りがございますので、委員の方のみの配付とさせていただいておりますが、「食品の備蓄のすすめ」というリーフレットでございます。こちらは本日、岡本委員から資料を御提供いただきました。枚数の都合がございましたので委員の方のみ配付させていただいております。

配付しております資料につきましては以上でございます。

事務局 ありがとうございます。

ただいま資料につきまして御確認をさせていただきましたが、資料等が不足をしている委員の皆さん、いらっしゃいませんか。よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行は川連委員長にお任せしたいと存じますので、委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

川連委員長 皆さん、こんにちは。皆さんにお会いするのは3カ月ぶりになりますが、皆さん、お元気な様子を見て安心いたしました。私も元気に活動しております。20日の日曜日には元住吉のオズ通り商店街と木月2丁目町会との合同の防災訓練が平和公園でありまして、私はカメラを持って見学に行っていました。そのようにあちこちで防災訓練が行われるということは大変いいことだと思います。

ここから私が議事を進めることとなりますけれども、よろしくお願いを申し上げます。

早速始めさせていただきます。

## 2 会議録確認委員の選任

川連委員長 まず、会議録確認委員の選任をいたします。

前回は稲富委員と梅原委員にお願いをいたしましたので、名簿の順番で恐縮ですが、今回は岡本委員と尾木委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

それでは、課題の審議を進めてまいります。

## 3 議題

(1) 第1回及び第2回課題調査部会報告

川連委員長 まず初めに、第1回及び第2回課題調査部会の報告を受け、審議テーマ「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に向けた取組について議論いたします。

課題調査部会では11月5日と12月7日の2回にわたり課題解決に向けて熱心に議論をしていただきました。課題調査部会の審議結果について、課題調査部会部会長である板倉副委員長に御報告をお願いしたいと思います。

それでは、よろしく願いをいたします。

板倉副委員長 こんにちは。それでは、課題調査部会の報告をさせていただきます。

今、委員長からお話がありましたように、11月5日と12月7日、2回にわたりまして、委員9名全員出席という形で課題調査部会を終わっております。各会議の詳細な内容は本日の添付資料の中にある参考資料1-1、1-2というところで会議録が出ていますので、それぞれに御確認をお願いしたいと思います。

1回目の部会で部会長、副部会長の選任ということで、私が部会長に、岡本委員を副部会長に選任する形で会議を進めてまいりました。

それでは、まず、資料1、審議テーマに関する意見一覧表というA3の資料を見てください。

これまで区民会議の準備会議、第1回、第2回、それぞれの会議の中で、それと、第1回の運営部会で出されたそれぞれのテーマに関する意見をそれぞれ集約してまとめたものが資料1でございます。この中で、ちょうど真ん中のところに「取組のテーマ（方向性）」と書いてあると思うんですが、皆さんの御意見をそれぞれ整理しますと、個人を対象とした啓発活動や情報の提供をどうするか、家庭内での自助に関する取り組みをどうするか、地域における防災訓練の実施、地域の中で防災関係の人材育成をどうするか、自主防災組織、避難所運営会議等をどうやって充実していくのか、大型集合住宅における防災対策をどうするのか。それぞれ整理をしますと、大体この5つのテーマになるのではないかなということで整理をさせていただきます。

その結果、第1回の課題調査部会では、防災情報をもっと外国人市民を含めて区民へ伝える方法をどうするのか。特に徐々に外国籍の方もふえてきていますので、中原区としては1つの問題として取り上げてはどうか。それから、地域の特性を踏まえた防災イベント。これは小杉駅周辺再開発地域と戸別住宅の混在する地域、中原区もそれぞれいろんな特性がありますので、そういう特性に基づいて何かイベントを行う必要があるのではないかな。それから、活発な活動をしている自主防災組織、それと、活動が少しおこなわれているなというふうなところの方々も、もっと協力を求めてやっていってはどうかというような話でした。

第2回の検討では、絆を深めて支え合う防災体制づくりにおける、区民会議としてどうやって取り組むかということでまとめてございます。防災をもっと区民の方々に伝えるということに関しまして3つほど提案がされております。これは資料2を見ていただくとよ



ろしいかと思うんですが、まず、区役所内に防災の情報コーナーを設けてはどうか。これは区役所の1階なんかにはパンフレットを、どうしても縦割りにになりがちなので、いろんなパンフレットが出ているんですが、場所が1カ所に集められていないことから、なかなか皆さんが簡単に集められる状況でないので、防災だけを取り出して1カ所に集約して区民の方に伝えることができないであろうということで添付をしております。

これにつきましては常設というお話もあったんですが、可能であれば常設よりは9月の防災の日とか3月11日、この時期に一、二週間ほど集約して展示してはどうか、そうすると割と整理がつくのではないかと、こういうような御意見が出ております。ただ、これに対しては次の運営部会の中では、やはり常設のほうがいいのではないかとというような御意見も出て、この辺、めり張りをつけてやっていく必要があるのだろうと考えてございます。

それから、次に、区民の方が転入手続きをするときに情報を伝達してはどうか。主要なパンフレットを皆さん方に配付することができるのではないかと。特に外国籍の方にも専用の資料を用意して配付ができれば情報伝達ができるのではないかとというふうな御意見もございました。

次に、身近な防災資器材の紹介ということで、公園とか住民にとって身近な場所に防災の設備はそれぞれあるんですが、それを知らない方々がいる。その辺をどうやって伝えていくのか。伝えることによって皆さんそれぞれの防災の意識が高まるのではないかとという意見で、こんなことをやってはどうかということでございます。

次に、防災のイベントを行うということがございました。これは災害時に各地域での活動を支える、また担える人材をこういうイベントの場で発掘していくのはどうでしょうか。開催に当たっては、やはり先ほど地域の特性と言いましたが、大型マンションのある地域とか、高齢者が多い地域とか、こういうそれぞれの地域の特性に合わせてイベントを打つことがいいのではないかとという意見の一致を見ています。

それから、イベントの内容としては災害時図上訓練(DIG)や講座が効果的ではないか。この辺については区民会議の中で検討していけばよろしいだろうと思います。あと、実施につきましては、8月31日に中原区が会場となる川崎市の総合防災訓練がございましたので、その前にイベントを実施して啓発を図っていくのはどうであろうかという御意見がございました。

また、運営部会の中では、このイベントに合わせて区民会議委員がそれぞれの所属している団体のメンバーの方に集まっただいて、その人たちと交流を深めることで各団体間の相互の、企業と区民とか、そういうそれぞれの相互の取り組みをする、対応する。そんなことで、非常時にそれぞれどこがどういう活動をしているかということで、いざというときに助け合うことができるのではないかと、共助の世界ができるのではないかとという意見がございました。

それから、次に、自主防災組織の活動でございますが、これは第2回の本会議でマンションの関係、町内会の活動ということで先進的な事例の発表がございまして、皆さんがそ

ういう事例を広げていくことがよろしいのではないかという御意見もございました。ただし、自主防災組織というものは1つのそれぞれの団体、そして常に行動がなされておりますので、区民会議としては支援をする形でいくのがよいのではないかという御意見がございました。

次に、防災意識の向上でございますが、東日本大震災の経験から、災害時も非常によく活動しているというか、役に立ったということで、中学生が非常にそれぞれの活動をやっていたということから、中学生の防災意識を向上してもらい取り組みも必要ではないかという御意見がございました。しかし、これは現状で確認しますと、中原区の8中学校のうち5校までが、既に中原消防署の指導によりまして災害図上訓練を実施していることがわかりました。これについては事務局が視察して、参考資料5についてありますが、こんな活動をしておりましたよという報告がなされております。

それから、次に、子育て世代の防災に関する考え方、もしくは啓発をどうするかということでございますが、子育ての保護者の方々の防災の心、また行動の仕方というようなことで、一回講演会でやってみてはどうだろう。この件は青木委員が丸子地域で一度講演をやった実績があるということがございます。

次に、大型マンションの防災組織をどうやってつくっていくかという、その辺がでございます。第2回目のときに塚本委員からコスギタワーの自主防災についての取り組みというお話がありまして、非常に積極的な活動をされていたということです。区内に100戸以上の大型マンションがございまして、この中でそれぞれのマンションの中に自主防災組織が結成されていないところがいくつかあるということでございますので、この辺を現状認識する意味で調査をして、今後少しこの辺の取り組みを続けていくということで話をしております。

それから、次に、防災時に必要なリーフレットなどを作成するということがございました。これは、震災時に家が破壊されても割と冷蔵庫や何かが壊れることなしに残っているというような話がございまして、冷蔵庫の中にそれぞれの個人の情報を書いて入れておいていただくと、いざというときにその方の対応ができるのではないかという話もございました。ただし、現在、既存のリーフレットは結構たくさんあるんですね。あるんですが、やはりばらばらになっていて。それから、中学生ぐらいになると生徒手帳があるんですが、小学校の方々はそういうものを持っていないので、その辺のところをどうするか。ただ、個人情報という壁があって、果たして小学生にそういうものを持たせることができるかどうかというような話もございました。

次には、区民会議が取り上げるというよりも、市民と行政の間の問題というところで説明が書いてあります。下から2行目ぐらいのところですが、区民と行政の協働に関する取り組みということで検討してございます。これは外国人市民の防災への理解向上をどうやったらいいだろうと。この中では、外国の市民の方々が集まる識字学級等を通じて防災の意識を広げてはどうかという御意見もございました。

それから、もう1つは、消防団の取り組みをどうするか。どうも中原区は消防団が常に人員不足に悩まされているという状況もございますし、また、地域における消防団の役割を多くの市民に知っていただくということから、活動、報告をどこかでやってはどうだろうかということの検討がございました。まず、2月1日の市政だよりの中で、この消防団の活動のお話が掲載されるようでございます。

それから、区内の公共施設の関連、それから、小杉周辺マンションが連携をとるようなうまい方法はないだろうかというようなことがございました。そのほか、中原区の防災連絡協議会の運営等を通じて広く防災活動を啓発していくことも大切ではないか。

そのほか、例えば法政大学の体育館等が新しくできておまして、耐震性も非常にあるんですが、果たしてそういうところを災害時に使えるかどうかという問題もございますので、その辺のところも使えるようにできるような方向で連携をして、協働という形で活動できないのであろうかというお話もありました。

以上が2回にわたる課題部会の検討でございます。さらに運営部会で検討いただいて反映していただいておりますので、それらを反映して、これから区民会議ではなかなかやれない部分が先ほど申し上げたようにあると思いますので、皆さんのこの場での御意見を伺いまして絞り込んでいきたいと思っております。

説明は以上でございます。

川連委員長 どうもありがとうございました。課題調査部会の審議結果の報告と取組事項の案内について御説明をいただきました。

## (2) 審議テーマ「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に向けた取組について

川連委員長 ただいまの説明を受けて、審議テーマに関する取組事項について委員の皆様の見解をお伺いしたいと思います。意見のある方は挙手をお願いいたします。

ないようですね。それでは、私から指名させていただきますけれども、青木委員、いかがでしょうか。

青木委員 今、御紹介いただいた中で、私は丸子地区では子育て講演会等を去年の10月10日にやりました。ロー紀子さんという方が、去年の3月に被災された乳幼児を持っている親子につぶさに体験談を聞いたということで、それをまとめて冊子でも出しているんです。私どもは丸子多摩川いこいの家に29組の親子に来てもらって、やはり実際に体験したリアルな話なので、その話は若い母親の心に訴える話で、本当に参考になったと言って喜んでおられたし、また、涙を流している人もたくさんいました。

それをこの区民会議で取り上げていただきたいと思いましたが、実際、丸子のほかに、たしか大戸地区で松原会長がおやりになるとかと言っておりました。これは提案したときに、この区役所の5階に集めていると思ったんですけども、やはりそれぞれの、今、中原に16カ所ぐらい子育てサロンをやっている会場がありますので、そういうそれぞれのサロンでせいぜい30組前後の若いお母さんに話を聞いていただいたほうがいいかなと

ということで、大きなところでの講演会というよりも、親子防災ということでそれぞれのサロンで取り組んでいただいたほうがいいかなと思っている次第でございます。事務局のほうにも、もちろんそういうことでお話しさせていただきました。

思いついたところは以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。岡本委員、いかがですか。

岡本委員 課題調査部会でもいろいろたくさんの課題が出ていますけれども、本当にこれをまずどれからやっていっていいかというようなことも、これは1つ討議していかなければいけないのではないかなと思っております。

この間、講演会を聞きまして、日中は家庭にいる人たちを重点的にということや女性の方が言っていられまして、女性の方を巻き込んだ訓練も必要ではないでしょうかということや、女性はきめ細かく、お昼は赤ちゃんと一緒にいたり高齢者の方と一緒にいたりするので、実際こういうふうな子供ということやを言っていられまして。

それと、この訓練ですけれども、訓練するといってもなかなか皆さんが来てくださらないので、何か少し趣向を変えた、おもしろみも入れたような、ゲーム的なようなものを取り入れながら、皆さんに親しんでいただいて意識を向上していくのもいいのではないかなというようなことも考えました。この紙面を見せていただきまして。

そういうふうなことで、こういうふう意識を高めながら、これから今後どうしていくかということやを皆さんでちょっと、今すぐ私の中で出てこないですけれども、そういうふうなことをしていただければ区民の人の意識を上げていくことができるのではないかなと思っております。

川連委員長 ありがとうございます。あと、尾木委員、いかがでしょうか。

尾木委員 この中に自主防災組織と避難所運営会議などの活動の充実なんていう項目があるんですが、実は丸子地区でも今、青木会長も非常に熱心に、何か中学校あたりでやっていられまして。東横線の東側は6小学校区あるわけですよ。上丸子小学校区ですか。これも前々から、それも実際にやらないとよくわからないよということで、みんなそういう町会長の意見は一致したんですが、さて、どういう内容で、どういう規模でやったらいいのかというところへいくと、なかなか逡巡しちゃって実現できなかったわけですよ。来月、十何日ですか。とにかくやってみようよというところまでこぎつけまして、消防署から起震車とか煙の施設も持ってきていただくことになっています。具体的に、訓練だとかをどういうふうな手順でやるかということになると、なかなか話がまとまらないというもどかしさがございました。

上丸子小学校の校区の各町会で、町会長たちが、余りお偉方がうろろするよりは、むしろ実務者レベルで若手を前面に出してまとめてもらえればということで、そういう方式でやりましたら、割と彼らは一生懸命やってくれまして、今度は実際に初めてやるわけなので、どういう成果が上がるか、また、どういう地域に対するアピールができるかという

のは、まだこれからのことなんですけど、とりあえずやるところまでこぎつけたということで、また次の会議のときにその内容については、また皆さんにお話しできるのかなとは思っておりますけれども、この自主防災の組織というのは、やはり、いざその防災組織が活動しなければならぬというときには、例えば大震災とかそういうときには、本当に皆さん心を1つにしてやれるんでしょうけれども、やはり日ごろの準備というものも必要かなということで、この区民会議でも私も自主防災の出身でございますので、そういったものの充実等、もうちょっと意識の向上を図ろうということはお話を申し上げたこともありますが、とにかく余り大上段に構えて立派にやろうなんて思わないで、とりあえず何でもやってみれば、今度からこういう形にしようやというような形のほうが、かえって住民の皆さん方の御理解を得られて、また参加もふえるのではないかなということで、今度、2月にやってみますので、また結果を御報告させていただきます。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。

まだ少し時間があるものですから、塚本委員、いかがでしょうか。

塚本委員 私は、この課題調査部会のメンバーで2回とも出て、ここにまとめられているようなことをやっていこうということで、ぜひ進めていきたいと思っているんですが、いかにせん、ちょっと数も多いのでね。これを具体的に実際に動かしていくというのを、では、どうしていくのかというのをどういう場で決めていくのかなということと、あと、せっかくこういうことを区民会議主導でやっていくので、ぜひ区民の人に区民会議でこういうことをやっているんですよというPRをするチャンスだと思うので、例えばうちで言うと、再開地区のマンスションの連合で2月に初めて、今までは各マンスションで防災訓練をやっていたんですが、今回はちょっとだけ合同でやってみましょうという練習をやってみるんですね。午前中は各マンスションで訓練をやって、午後合同でやりましょうというふうなことを初めてやってみようとしているので。

その際にも、そのときは各マンスションの防災委員が集まったりするので、区民会議ではこういうことを今やろうとしているんですよ、こういうことを一緒にやってみませんかということを投げかけたいと思っているので、これを具体的にしていくアクションとツールをしっかりと準備していきたいと思います。

川連委員長 ありがとうございます。それでは、中森委員、いかがでしょうか。

中森委員 ありがとうございます。

私も同じように2回も参加していて、できればこのとおりにやってほしいんですけども、1つ加えたいのは、この前、私の町会で訓練をやっていて、そこで消防署の方と話ができて、できれば学校でDIGをもうちょっとできるようにしてほしい。自分たちもすごい必要に思っているんで、学校もその必要さをわかってほしいと言っていました。いざそういう災害がある場合は、消防局からいろんなところに消防車を出すことができないので、その地域ごとで訓練をした方たちだったら、もういろいろ準備しているので、いざな

ったらそこから助けることができるということで、自分たちにとってもすごい助かりますということアピールしていました。だから、できるだけこういうものを私たちも学校とか、いろいろ区民全体にアピールしたほうがいいと思っています。

川連委員長 ありがとうございます。橋本委員、いかがでしょうか。

橋本委員 私は部会でいろいろやったわけですが、この5つ取り上げた中で、1と2のいわゆる個人を対象とした啓発と、それから自助の部分ですね。これは区民会議主導である程度進められるのかなというような気がしております。

まず、防災コーナーの設置などというものも、これは行政と自主防委員の力か何かでできるのかな。これも最初、区役所にというような話もしていたんですが、それ以外に今度、中原図書館が新しくできるので、あの辺なども非常に多くの人たちが集まるので、中原図書館なども利用して、区役所以外に新しく、あそこですと駅に近いし、多くの方が利用するので、防災情報コーナーなどはああいった図書館などにも、もし図書館のほうで余裕があれば設置していただけると、PR効果が非常に大きくなるのかなと思っています。

それから、先ほど備蓄物品の関係で非常にいいものを配っていただいたんですが、これもやはり、それぞれの行政のほうも縦割りでやっているもので、自分のところは非常に詳しいんだけど、それ以外にももうちょっと欲しいなというときによくわからないので、防災コーナーなどで全体がわかるような形としてPRしていくことが必要なのかなと。

それから、やはり、こういったコーナーなどについては、私は個人的には常設でしていかなければいけないのかなという意見を持っております。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。では、藤嶋委員。

藤嶋委員 私は、ここに載っていないんですが、携帯電話ですね。今、何をみんなが持ち出すかといったら、まず携帯電話ということなんですが、それが何か変なときに鳴って、また鳴らなかったり、それを徹底していただきたいと思います。

先ほども教育の話が出ておりましたが、教育委員会とか、そういうところではどのように生徒を指導するかとかいうことを、この区民会議で一回、教育委員会の先生の防災と、そういうことも聞く機会があったらいいのではないかなと思っています。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。稲富委員、いかがでしょうか。

稲富委員 私は運営部会の中でお話しさせていただいたんですけども、それぞれが訓練をしたり、いろんな情報を提供したりということは、やっぱりここに話されているとおり、やっていくことも大事だと思いますけれども、どう意欲を上げていったりしていくかというところで、各組織間でそういったものを情報交換するようなことをやったらいいのではないのでしょうか、いい事例を取り入れていくということをやったらどうかなという発

言をさせていただいたんですけれども、先日も震災フォーラムへ行かせていただいて、最後の質問で出ていたのが、自分のところは防災訓練をやっているけれども、それが結局本当にそれでいいのかどうかというものを多分聞かれていた人がいて、要は、自分たちがやっていることがいい状況なのか悪い状況なのかというような話があって、自分のところの限られた中でやっているると自己満足に陥りがちになってしまいますから、そういう意味でもほかのところの事例を見たら、ああ、自分たちが進んでいるなと思うのか、ほかがもっと進んでいて、もっとこういうことを気をつけていかなければいけないんだなと気づくことで、そういう意識が高まるということもありますし、運営部会なんかで言ったのは、例えばここに区役所の中にそういう情報があるという場所をつくったとしても、震災時にそこに来られるかという問題もあるので、そういう横のつながりの情報交換もつくっておくことが大事ななという観点で、そういう取り組みをしてみてもどうかというお話をさせていただきました。

共助という中では特にその辺の横のつながりは非常に大事だと思いますので、そういうところがどうできるかなんですけれども、実際にはこちらに挙げられていることでも相当大変なことですから、どう絞り込むかについては、ちょっと私も今考えさせていただいているところであります。

いずれにしても何か形にもしたい部分もございますので、議論できたらなと思っています。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。梅原委員。

梅原委員 例えば夜間火事が起こったときにはどんな状態になるかというものを、テントを張って真っ暗にして、煙を出して、みんな通過させるとか、あるいは、地震が起こったときは本当にどんな状態になるかということで、起震車に乗っけるとか、いろんなことをやりまして、災害のときはどういう訓練をすればいいかということを中心に中原区のボーイスカウト、ガールスカウト、その保護者の方を公園に集めて訓練したことがあるんです。

そうすると、災害が起こったときにどうなるかというのをほとんど知らないんですね。ですから、災害が起こったときにどうなるかということを経験的に勉強するのが非常に大事ではないかなという感じがいたしました。そのときに、皆さん、子供たちも来ていますので、目玉として市が保存している災害用の食料なんかがあるんですね。その期限切れ寸前のものをたくさんいただきまして、それで五目御飯とか、今度は災害時に食料を確保するときにはどうすればいいかということで、みんなでお湯を沸かすとか、いろんなことをやりまして、そういうものをつくって食べる訓練をやったことがあります。

そういう意味では、実際に災害が起こったときにどういうふうな状態になるのか、何をすればいいのかというふうなことを訓練いたしました。そのときに感じたのは、やはり何か仕切る人、指導者に相当する人間がいないと、みんなワーワーワーやって何もならないなということがよくわかりました。そういう意味で、地域におけるリーダーの充実が